

<メンバー>

研究者： 教授 鈴木宣也
 教授 赤羽亨

<活動の概要>

デザイン思考などのデザイン方法論について、実効する人やその経験則、対象としたフレーム自体の設定、あるいは提案した解決方法自体の影響も含め、方法論自体に関する検証の時期に来ています。社会性や人々の価値観の変化も踏まえ、新たな問いのあり方やデザインプロセスが関わる影響やその範囲についてを検討する必要があると考えます。デザインは課題解決に対する一つのツールではなく、デザインが関わるプロセスの中で、課題との関係性を再検討しなければなりません。これまでの原因と結果に基づいた近代的デザイン方法を乗り越えるためにも、全体性やその影響なども含め試行し、デザインする人とデザインする対象との関係を考え、社会とデザインが影響する範囲を検討したい。

そこで本プロジェクトでは、地域や企業と対話を進め、デザインの役割について調査しました。互いが交差するプロトタイピングや共同研究へ向けた前段階の対話も含め、フレームの設定やビジョンの共有やプロセスの理解も含め、それぞれの関わりについて調査しました。デザインと実際の対象間をブリッジさせ、その上に立ったことで得られる新しい視点を通して、今後のデザインについて検討し、プロトタイプを実装しました。

<活動内容>

本年度のプロジェクトでは、地域や企業と対話を進め、デザインの役割について調査する活動を展開しました。学外との関わりの中で、互いが交差するところを確認する対話方法も含めながら、活動しようとしているフレームの設定や、協働者とのビジョンの共有、プロセスの理解やプロトタイピングも含め、それぞれの関わりについて実践あるいは調査しました。具体的には3つの対象をターゲットとしました。

- ・「大垣市」との共同研究「イアマスこどもだいがく」
- ・「飛騨の森でクマは踊る」を中心とする広葉樹の活用に関する調査「飛騨家具ーパラメトリックデザイン」
- ・岐阜県に居住する外国人をターゲットに、広告業と共に支援についての実践方法を模索する「岐阜外国人支援」

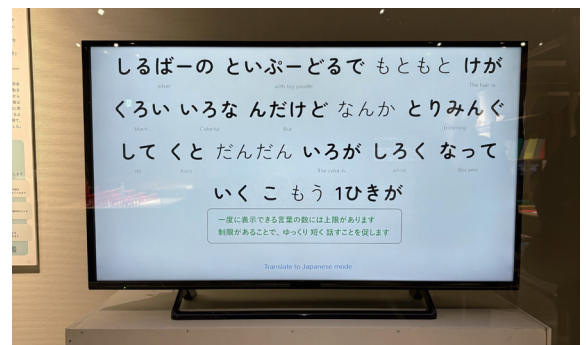
3年間の活動について詳しくは「情報科学芸術大学院大学紀要 第17巻」へ投稿したので、紀要をお読みください。紀要に掲載していない内容を以下に示す。



GALLERY GIFU での展示の様子



「飛騨家具ーパラメトリックデザイン」の取り組み「g-branch stool」



「岐阜外国人支援」のプロトタイプ映像

1. 岐阜県庁 GALLERY GIFU 企画展 「IAMAS Overview」 出展

会期 2026 年 1 月 28 日 - 2026 年 2 月 10 日

会場 岐阜県庁 1F GALLERY GIFU

2. IAMAS2026 情報科学芸術大学院大学 第 24 期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会 出展

会期 2026 年 2 月 20 日 - 2026 年 2 月 23 日

会場 ソフトピアジャパンセンタービル 12 階



プロジェクト研究発表会の展示



「飛騨家具ーパラメトリックデザイン」の取り組み「広葉樹 x レジン x CNC」